会報12月号ヘッドライン

会活動・ニュース　news

第２回生涯教育講座終了報告

京都北部の会員様より、一度京都北部で生涯教育講座を開催してほしいと要望が有りましたので、今回は福知山市ではじめて開催しました。

日　時　10月28日（日）　１３：００～１６：１０

場　所　交流プラザふくちやま
福知山市駅前町４００番地　　４階１会議室

参加者　会員１４名

テーマ　「鍼・マッサージ手技療法」

１．演　題　たかが肩こり、されど肩こり
…　鍼灸治療で肩こりにアプローチ　…

講　師　　玲子鍼灸マッサージ院　院長
中村　玲子　先生　（鍼担当）

2．演　題　マッサージ手技用法
…　骨盤周囲筋～下肢へのアプローチ　…

講　師　京都府鍼灸マッサージ師会　理事
京都洛東悠々館　院長
戸中　照之　先生　（マッサージ担当）

終了後、１６：３０より肉匠坂井（焼肉食べ飲み放題 120 分）にて懇親会を開催しました。

（参加者感想）

中村先生の施術を受けて筋肉のコリを探す触診のタッチの軽さを身をもって感じました。私もあん摩を施術でやっているが、本当に辛い筋のコリを探しきれない課題があります。施術の中で直接皮膚を触る鍼灸と服の上から触るあん摩との違いはあるものの、今回感じたことをヒントにして今後の施術に生かしていきたいと思います。他にも問診時などに患者さんの脈の確認も大切になることを学びました。脈診が出来る・出来ないに関わらず、毎回確認していくことでリスク管理やちょっとした気付きにつながることも学びました。

戸中先生の講演と施術では仙結節靭帯へのアプローチについて学びました。仙腸関節に関わるこの靭帯の大切さと中でも押圧をするときの角度・方向・力の入れ方・抜き方を学びました。それにアプローチをする時の姿勢をどうつくるかも施術をしやすくしたり、ゆるめやすくなることに繋がることを学びました。

今回の勉強会では視覚障害のある私にとっても、机に座って動画や図を見ながら受ける講義形式の勉強会ではなく、実際に触ったり、いつでも質問できる雰囲気だったり、とても充実した時間になったと思います。

勉強会後には、懇親会もあり、同じ地域で仕事をしている先生方ともこの機会に話をすることやマッサージ師会の理事の先生方とも仕事やその他の話もしながら時間をすごせたことも意味のある一日になった要因だと感じました。今後も宜しくお願いします。

【学術部】

第17回東洋療法推進大会 in 鹿児島報告

鹿児島大会に参加して

航空機での参加は初めてでした。朝４時 50 分に自宅を出て伊丹空港から鹿児島へ。大会の実行委員なので大会中は役割を果たすべき事で動いていました。担当県はここまでに大変な準備をしていたことでしょう。昨年を思い浮かべました。

開会式は参加出来ず基調講演と分科会から参加しました。

基調講演の原口講師は西郷隆盛研究の第一人者で TV「西郷どん」の裏話を交えての話は興味深く拝聴しました。

分科会の保険局・法制局・視覚障害委員会・地域健康つくり委員会と参加しました。保険局の今後の展望、法制局の厚労省との歩み・障害者委員会の現状・介護事業の取り組みなど全鍼の取り組みが前に進んでいるのが感じられた。

この大会の魅力は全国の仲間と会えることにある。たくさんの仲間とも出会え共に悩み話し合い、情報交換をして交友を深める事が出来た。また、参加した京都府師会会員とも親交を深める事が出来た事を今後の師会活動に役立てていきたいと思う。来年は神奈川県での開催です。

【会長　朝田　聖二】

臨床発表「医療連携による眼科領域での鍼灸治療の効果」について

鍼灸あん摩マッサージ指圧の科学化と社会性を求め、今年も大会に参加させていただきました。大会の進行については、他の参加者報告をご参照下さい。

私は、学術委員会主催の「臨床発表」の一つ「医療連携による眼科領域での鍼灸治療の効果」についての感想を報告いたします。

写真中央 演者・榎本恭子氏

発表者は神奈川県師会の榎本恭子氏で、ツボの解剖学的所在を求めて、ハワイ州立大学医学部に研修に行かれました。

日頃からツボとは何か？　ツボはどこにあるのか？　どうしてツボが形成されたのか？　等々、疑問に思う中、ツボの解剖学的・視覚化に取り組まれました。やがてミリ・ミクロン単位で突き詰め、その確かな存在を器質的存在と、機能的存在の二つに大別されました。この二つの大別法が正しいか否かは今後検閲されて行くであろうが、ツボという概念を視覚化・科学化されていかれる功績は目覚ましく、東洋医学に光明を放った。

人間というこの神秘な存在、医学・生命学が進歩し、やがて人類は一個の生きている細胞を人工的に作り、人工的にヒトを作る時が来るのであろうか？

その過程において、ツボとは何なのか？　どうしてツボが形成されていくのか？　どんな働きがあるのか？　等想起させられ、悠久の時の流れを感じさせられる発表でした。

榎本氏の眼科領域の研究発表は眼科学会で承認された後に、詳細を報告されるとのことです。今回は、鍼が眼循環に改善をもたらすことを報告されました。

【副会長　田口幸三郎】

東洋療法推進大会 in 鹿児島の報告

特別講演「西郷隆盛の文明観」志學館大学　人間関係学部 教授　原口 泉先生の講演

西郷隆盛は「維新の三傑」でありながら、西南戦争を引き起こした賊軍の首魁。にもかかわらず、国民の間では圧倒的な人気を誇る。武士にして思想家、軍略家にして温情の人、農本主義者にして詩人でもあった。西郷隆盛ほど捉えにくい人物はいない。だからこそ、さまざまな西郷論が語られ続けてきた。その変遷はまた、時代を映す鏡でもある。同時代人の証言から、小説における描かれ方までを総ざらいされた。

分科会①の報告　鍼灸マッサージ医療の課題と展望をテーマに（公財）国際医療技術財団の小西恵一郎理事長の講義を聴講

小西氏は公益・政治・学術各団体を一つにということを訴えられた。数は力となり、力が正義であることとの考え方から全鍼師会、日鍼会、日マ会が一つになることを提唱された。

また伝統医療推進基本法の制定、政府部局の新設を目指し、議員立法される働きをされるようにとの提言もされた。さらに災害鍼灸マッサージを世界へ普及する提言をすることも述べられた。これについては、まず国内において各都道府県と鍼灸マッサージの団体が行政機関と協定締結することが先決であり、医療連携や多職種チーム医療への参画をなすよう呼び掛けがありました。

小生は小西理事長に京都府、京都市に協定締結について質疑し、締結に向けた具体的な手順を教授していただき、京都府の各団体が、団体の枠を超えて災害鍼灸マッサージで京都府・京都市を締結できるかがポイントであることを再認識した。

分科会②の報告　「HTLV-1（ヒトＴ細胞白血病ウイルス１型（human T-cell leukemia virus type 1：HTLV-1）　関連脊椎症（HAM）の診療とリハビリテーションについて」大勝病院　脳神経内科　松崎敏男先生の講義を聴講

痙性（けいせい）や冷感を伴うしびれには鍼灸のみならず、マッサージも有効と松崎先生から回答を得た。その場合、マッサージは局所だけではなく、全身に行うことが効果的とのことでした。

２日目分科会①（通算③）業界の広告規制と業界法１９条（新規養成学校の認定、不承認ついて）厚労省医政局医事課松田芳和医事専門官へ小生が質疑する。

内容は人口減少が進む中での養成学校を新設する流れがあるのは適当か？また我々の免許登録者と実働実数が合致しないことに関して厚労省回答を後日、本会へ書面にて回答を得ることの確約を会場で聞いているので、これは会報にも掲載いただければ幸いです。

２日目分科会②（通算④）機能訓練指導員の役割として、本会地域健康つくり委員会の長嶺芳文氏、小川眞悟氏の講演　鍼灸師の機能訓練加算やマッサージ師の機能訓練指導員として業務を理解しているか等、実例を提示しての講義を聴講。今分科会は登壇者の講義だけの披講のみで質疑ナシであったが、地域包括ケアシステムのネットワークづくりや実例や、介護予防の取り組み、機能訓練指導員としての鍼灸師の関わり方を講義いただけた。

次年度は神奈川県（横浜）での開催と聞いているので、開催日の都合がつけば、また研鑽を積んでいきたいと思いました。

【財務部長　山内　敏司】

東洋療法推進大会 in 鹿児島報告

曇り空に桜島の煙が見える１０月１４日（日）・１５日（月）朝田会長、田口副会長、江田事務局長、山内財務部長、森理事、竿田先生と一緒に鹿児島サンロイヤルホテルにて開催された東洋療法推進大会 in 鹿児島に参加しました。

私と家内は熊本に前泊し、高橋熊本県師会会長に仮設団地等の現状を伺い、翌日昼前に会場入りしました。

会場では本物の西郷どんと見紛う熊本県師会林 裕一理事ら鹿児島県の熱い歓迎を受けました。特別講演「西郷隆盛の文明観」では原口 泉 志学館教授による薩摩藩に受け継がれた熱い思いと西郷隆盛のユニー

クな文明観が紹介され、災害対策委員会、療養費受領委任払い制度について、スポーツ事業委員会、地域健康つくり委員会、学術委員会に加え鹿児島県師会より HTLV-1 関連脊髄症における鍼の臨床結果が発表されました。

本年は多くの地域で地震・水害・風害等が起こり、被災地の先生方と協力し合ったケアが必要となりました。私も全鍼認定災害鍼灸マッサージ師としての活動を改めて決意しました。

受領委任払いは同意書やレセプト等の細かい部分を確認しながら間違いないようにやっていかねばなりません。

来年からラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスターズ大会と３年連続で大きな大会が開催されますし、国体においても今年の福井大会、来年の茨城大会と鍼灸マッサージ師会のケアサポートが決まっています。

地域健康つくりでは埼玉県師会長嶺先生が、ご自身も執筆に加わられた本と共に様々な事例を紹介されました。

学術では神奈川県榎本先生が、鍼により眼の毛細血管血流量を増やし治療として有効である論文を眼科学会に発表され、承認の上追加論文依頼を受けました。

以上多岐にわたる分野で鍼灸マッサージの需要が増えています。京都府師会でもこれまで以上に皆んなで知恵を出し合い、助け合っていかねばと思いました。

主催され、熱く歓迎して頂いた鹿児島県師会の先生方に感謝申し上げます。

【洛中ブロック長　吉舎定良】

東洋療法推進大会 in 鹿児島参加報告

「あはき法１９条について」

あはき法１９条に関する行政訴訟について、自身の意見を述べます。

この１９条は視覚障害者の業権を守ることに焦点を置いた法律であると私は解釈しています。

重度視覚障害者の求職者のうち８割があん摩関係の仕事に就いている、この視覚障害者の所得は全国平均年間 120～180 万円と低水準の中、さらに現実は整体ならびに接骨院に仕事をとられ視覚障害者の仕事は減る一方になっている。

このような中で、１９条が違憲とされ、養成施設が乱立化すればさらに晴眼者の就業が増え、視覚障害者の仕事がなくなり、視覚障害者の生活保護受給者が増大し、日本の財政の圧迫も余儀なくされていきます。

現在存続している「あはき法」は視覚障害者と晴眼の同業者を守り国の財政をも守る一端を担っています。

この大切な「あはき法」を己の利益を追求する一部の晴眼者の、なおかつ既得権者の発言による行政訴訟はいささか残念に思います。

私はこれからも「あはき法１９条」の存続賛成派である。

今までも、そしてこれからも視覚の障害に悩み苦しむ方を守るためにもこの法律の存続をさせるべきと思います。

私が今回の鹿児島大会に参加して思ったのは、違憲として行政訴訟を起こすのではなく、本会で技術指導員や健康保険でできるレセプトのアドバイザーなどを養成して視覚障害者の手助けをして欲しいということでした。

【洛中ブロック　竿田　敏雄】

東洋療法推進大会 in 鹿児島　報告書

当日より厚生労働省の医事専門官をお迎えする為にサンロイヤルホテルにて待機。専門官と打ち合わせを行う。この日は分科会に参加するよりも翌日の自身の分科会資料を作成する。翌日無免許対策の分科会に参加した。広告に関する検討会の現在の状況と今後の課題についてご説明。参加者からは様々な意見を頂戴する。その後内容をまとめ次回の検討会の資料として利用すべく内容をまとめる。

【総務部長　森　孝太郎】

日本鍼灸マッサージ協同組合研修会へ参加

１１月１０日（土）新宿区立産業会館において協同組合主催の研修会が行われました。
厚生労働省保険局医療課保険医療企画調査室長の「社会保障制度と医療」の講演では、２０４０年を展望した社会保障のビジョンづくり、健康寿命の延伸と医療・介護・福祉サービスの生産性などとともに社会保障費の確保と効率化が述べられた。協同組合理事長による「医療過誤について」は、施術に関してもクレームや予想不能な事案でも訴訟に発展する時代１１０番補償制度の重要性と事案への対応についての話があった。

午後からは全鍼保険局長の「今後の療養費の取り扱いについて」の講演があり、１０月発出の疑義照会の解釈など全鍼へ問い合わせのあった事案についての説明がなされた。また、厚労省のホームページに全国の受領委任制度導入の保険者がアップされたが準備が遅れていることや運用への混乱があることも報告された。近畿各県の状況をみると現時点では広域連合や国保組合など平成３１年１月スタートは厳しいようです。今後、代理受領はできなくなり償還払いか受領委任になるとの説明がありました。その他にも申請書式の問題、不正請求の賠償問題、同意書問題など多岐に渡り引き続き検討と厚労省との協議も続くとのことでした。

【事務局、保険部　江田元一】

「東洋医学で健康寿命の延伸を」　左京区老人福祉センター

健康講座開催　　**洛北ブロック活動**

１０月２７日、左京区老人福祉センターにおいて府市民健康教室を開催。参加者は３０名限定、近隣在住の高齢者が参加されました。講座は平均寿命と健康寿命の話しで世界でもトップ誇る日本ですが、都道府県の健康寿命の順位で京都の女性は４４位とワースト３､男性でも２８位と厳しいデータ。「健康で元気に長生きするために」と「ツボ療法」や「足裏反射区で健康づくり」の講演あり鍼とマッサージの体験施術が行われました。鍼やマッサージは初めてという方も多く参加され「痛くない!!」「気持ちいい、すっきりした。」など感想が聞かれました。どこへ行ったらいいのかの質問もあり本会のホームページで「近くの治療院検索」が大活躍。センターの担当事務の方が印刷して治療院案内をされていました。参加の応募も大変多くて締め切った経過もあり再度開催を希望されていました。体験施術のスタッフとして奮闘頂いた先生方お忙しい中、ありがとうございました。

京都市国際交流会館「kokoka OPEN DAY」

１１月３日(土)京都市国際交流会館「kokoka OPEN DAY」においてお灸教室と鍼、マッサージ無料体験会開催。昨年度より参加している「kokoka OPEN DAY」絶好の秋晴れの下、万国屋台村や大道芸、各国民族芸等今年も盛りだくさんの内容で、ありがたいことに当会のコーナーは満員御礼札止め状態。

午前中のお灸教室は何故か女性ばかり。ヨモギの葉から自家製モグサを作り、生姜灸の体験会は参加者全員が、モグサ作りが面白かった様で、大変盛り上がりました。

【洛北ブロック長　北川忠史】

洛東ブロック

東山区特別養護老人ホーム「洛東園」にてマッサージの巡回施術

１０月２８日(日)13:30～16:00 東山区の特別養護老人ホーム「洛東園」にて、マッサージの施術を行いました。施設さん側が御用意して下さったスペース(広間)に、ご自分で歩いて来られる方、もしくは介助をしてもらいながら来られた方々に施術をする班と、歩行困難の方のお部屋で施術する班に別れて行いました。

今回は職員の方は日曜日と言う事もあり、出勤している方が少ない上、お忙しくしていた様で、残念ながら数人の方にしか施術が出来ませんでしたが、施術を受けられた皆さんには、大変喜ばれました。

施術を受ける事によって『気持ち良い』『楽になる』等の言葉を 頂きました。

健康を維持するためのアドバイス等もさせて頂きました。

皆さん施術者と和気あいあいと、会話をしながら、とてもリラックスして下さいました。

受療者 37 名.参加会員６名《(敬称略)足刈・川口・松田・大杉・大西・大堀》ご参加下さった先生方、お疲れさまでした。ありがとうございました。

【洛東ブロック長　大堀尚代】

法　制　だ よ り　　今月の報告

１．指導要請

（１）京都市　医務衛生課へ５件

国家免許者による違法広告　１件

無免許者による違法広告　４件

（２）奈良市保健所へ１件

無免許者による違法広告　１件

（３）本会会員

国家免許者による違法広告　１件

＊　これについては、本会から要請

２．啓発活動

啓発うちわ、啓発ウェットティッシュ、啓発チラシの配布

１１月２３日（金・祝）山科区民祭り（洛東ブロック）

参加者の皆様、お疲れ様でした。

◇◇◇　会員の皆様～法制部へ情報提供をお願いします　◇◇◇

無免許業者によるビラやチラシ等の案内、看板、施術等の情報提供を

本会事務所へお寄せください。

TEL 075-803-6078　FAX 075-821-2390　【法制部長　山﨑宣彦】

お知らせ・ご案内　information

平成31（2019）年　新年祝賀会のご案内

新年恒例の「新年祝賀会」を下記の通り開催致します。

当日は会員同士、和気藹々と新年を寿ぎ交流を深めていただきたく、多くの方にご参加いただきたいと存じます。会員ご本人様だけでなく、ご家族やご友人もお誘いあわせの上、お気軽にご参加くださいませ。

皆様のご参加をお待ちしております。

平成３１(2019)年新年祝賀会　開催要項

日　　時：平成３１(2019)年１月２０日(日)
午前１１時３０分～（受付１１時００分～）

会　　場：　石長松菊園
（〒604-0901　京都市中京区河原町通竹屋町東入ル）
TEL.075-222-1101

会　　費：お一人様3000円（ご同伴者同額）

申　　込：１月９日（水）までに、

会報に同封の申込票をFAXしてください。お電話でも受け付けます。師会事務局までお申込下さい。
尚、ご同伴者がいらっしゃる場合は、併せて人数とお名前をお知らせください。

富樫　会席料理

【総務部　森孝太郎】

京都マラソン２０１９
ケアスタッフ＆サポートスタッフ募集

日　時：2019年２月17日(日)　10：30～17：00

会　場：みやこメッセ（左京区岡崎公園内）

募集人数：はり師１５名、　マッサージ師５０名
その他受付・誘導等　若干名

第１回より８年連続で、マラソン終了後のランナー向けに鍼とマッサージの無料体験コーナーを設置しております。

京都マラソンランナーケアは日本でも有数の大規模なケアスペースで、毎年約 1000 人のランナーに疲労回復のための施術を行い、例年好評を得ております。一緒にランナーの喜びの声を聞いてみませんか？

◆　申込期間　◆

11 月 1 日(木) 9:00～12 月 25 日(火) 17:00 迄

期日厳守願います。

◆　申込方法　◆

先月号（１１月号）同封の申込用紙に必要事項をご記入いただき、**会館宛に FAX** してください。

詳細は申込用紙に記載しております！

【　スポーツケア部　】

会員掲示板

無免許マッサージ撲滅活動報告

１０月２８日（日）、「第３１回周枳区民文化祭」が京丹後市大宮町周枳公民館にて開催され無料マッサージ体験施術を行い来場者は２０名（男性１２名、女性８名）でした。

当日は無免許者のマッサージ治療防止のビラを添付したティッシュの配布も行いました。当該施術に当たっては８月９日周枳区民文化祭の会議において厚生労働大臣保有証を提示するとともに無免許マッサージの健康被害を訴え、全体の理解の上での体験施術を行うことになりました。

【施術者】上地悦信　他１名　【協力者】１名

１０月２７日（土）・２８（日）の２日間、道の駅：丹後王国「食のみやこ」にて、「第３０回京丹後商工祭」が行われました。

イベント案内の中に無資格でないかと思われる２店があったので、京丹後市商工会に連絡を取り、厚生労働大臣免許保有証の提示を求めるように説明しました。

即、京丹後市商工会が調査の結果、２店とも無免許である事が判明し、直ちに無料マッサージは中止になりました。　府下のイベントも注意が必要であり、今後も調査を継続しながら、無免許のマッサージ治療による撲滅活動を続けていきたいと思います。

【京都北ブロック　上地悦信】

広島国際平和マラソンのケア報告

１１月２日（金）朝８時半から治療院転居先の大原神社にて秋の大祭が行われ、町内会の方々と参加しました。その後、仕事を済ませて夜９時１０分ののぞみで広島へ。広島県師会佐藤事業部長と奥様に迎えて頂き、翌３日の広島国際平和マラソンケアに参加しました。佐藤理事は自身も競輪選手を９年された後資格を取得され、現在は国体の自転車競技監督もされておられます。広島国際平和マラソンケアは今年で

９年目、柔整師会、鍼灸師会、鍼灸マッサージ師会の合同開催でテントを並べて行われます。朝６時にホテルを出て会場準備を行い、８時合同ミーティング、団体別ミーティング、記念撮影の上、８時半から受付開始しました。ベッド５台で内１台がマッサージ、他に椅子を６・７脚置いて座位でのマッサージという場所に対して工夫された配置でした。盲人の先生方も半数強いらっしゃいました。

今年のメイン１０kmは１１時スタートであるにもかかわらず８時半から多くの方々がケア希望に並ばれたのは、このケアが参加者に広く認知されているからでしょう。午後２時から撤収作業を行い午後３時には会場近くの広島ダイヤモンドホテルで３団体合同懇親会が開かれました。IGL 医療福祉専門学校、朝日医療専門学校のお手伝いして下さった生徒さんと一緒に楽しいひとときを過ごしました。途中専門学校生からの質問コーナーがあり、３師会の先生方がお答えになっておられました。私も木村先生のご指名により一問答えさせて頂きましたが、今の学生さんの率直な、また真面目な質問にさまざまな考えや不安が感じられて誠意を持って答えました。懇親会後、夕方の広島駅はカープ服の人で賑わっていました。

日本シリーズがナイター開催のため、混雑をさけようと１７時１７分ののぞみにて早々に帰阪しました。

佐藤先生・奥様には宿泊先から競技場への送迎まで、何から何までお世話になりました。現場および懇親会では岡田先生、川口先生、木村先生はじめ多くの先生方にお世話になりました。

柔整師会の植田先生、鍼灸師会の岡田会長、運営お疲れ様でございました。

広島県の先生方に感謝申し上げます。なお、佐藤先生が京都マラソン 2019 ケアに参加下さることが決まりました。

和歌浦ベイマラソンケア報告

１０日（土）仕事終了後、パンダくろしお特急に乗って早やクリスマス装飾に包まれた和歌山マリーナシティホテルに泊まり翌１１日（日）朝６時半から設営、７時過ぎから１５時片付けまで和歌山県鍼灸マッサージ師会のマッサージケアに参加しました。早朝からステージでジャズが演奏され楽しい雰囲気が漂いました。２・３・５・１０kmとハーフマラソン自分の体力に合わせて楽しく走れる家族みんなで参加出来るイベントでした。消防局からもブラスバンド隊が雰囲気を盛り上げていました。

消防局ゆるキャラ「和びっとちゃん」（和歌山とラビットの造語だそうです）もお子さん達に人気でした。

ケアは和歌山県柔道整復師会と合同テントにて、マッサージの後テーピングされたり、その逆もありお互い勧め合ったりベッドをお借りしたりとても良い関係性だと思いました。一昨日３０km、昨日２０km走って今日１０kmの優勝を意識するも両大腿外側・腰背部共にカチカチというオーバーペーストレーニングの方もいらっしゃいましたが、ラン前→ラン後としっかりケアさせて頂き無事１１位で完走されました。２週間後にフルマラソンだそうでセルフケアも重要と意識して頂きました。お昼にはお弁当に加え自家製の奈良漬けやウィンナーソーセージ、鯵の南蛮漬けなど沢山のおかずを美味しく頂きました。最初から最後まで和気あいあい、気持ち良く和歌山の先生方と一緒に頑張れました。運営に当たられた下平副会長、橋詰二郎先生、西田先生はじめ和歌山師会の先生方に御礼申し上げます。

【洛中ブロック　吉舎定良】